

2019年12月期 第1四半期 決算説明資料

I .決算ハイライト

I. 決算ハイライト



藤田観光株式会社

2019年12月期 第1四半期決算説明資料

損益計算書

単位：百万円

	2018年 第1Q実績	2019年 第1Q実績	増減
売上高	15,808	15,896	87
営業損失	▲633	▲653	▲19
減価償却費等負担前営業利益	769	682	▲86
経常損失	▲794	▲769	25
親会社株主に帰属する四半期純損失	▲553	▲595	▲42

貸借対照表

単位：百万円

<資産の部>				<負債の部>			
	2018年12月	2019年3月	増減		2018年12月	2019年3月	増減
流動資産合計	11,671	11,647	▲23	流動負債合計	22,326	21,305	▲1,020
固定資産合計	90,374	90,266	▲108	固定負債合計	54,995	56,536	1,541
（有形固定資産）	62,838	62,204	▲634	負債合計	77,321	77,842	521
（投資その他の資産）	26,734	27,262	528	純資産合計	24,724	24,071	▲653
資産合計	102,045	101,913	▲132	（利益剰余金）	6,004	4,929	▲1,075
				（その他有価証券評価差額金）	2,322	2,750	427
				負債純資産合計	102,045	101,913	▲132

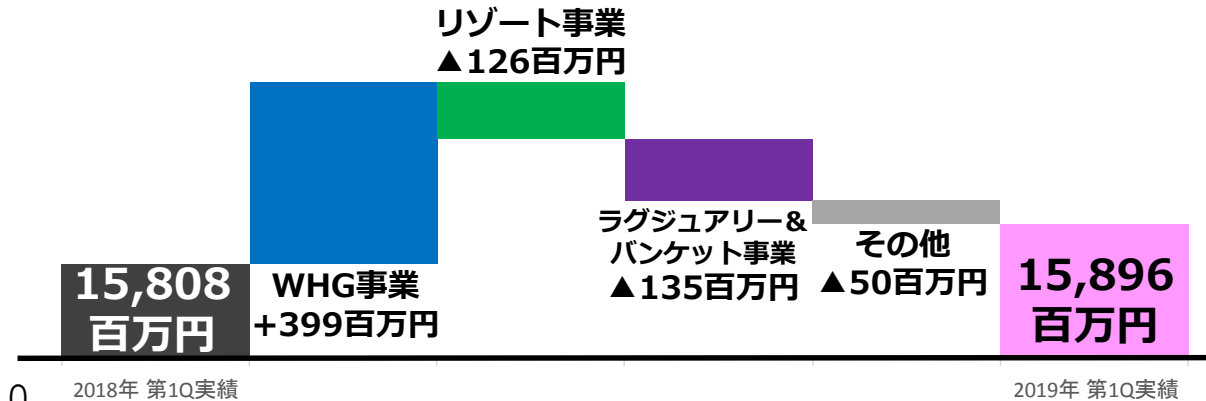
自己資本比率と借入金の状況

（単位：百万円）

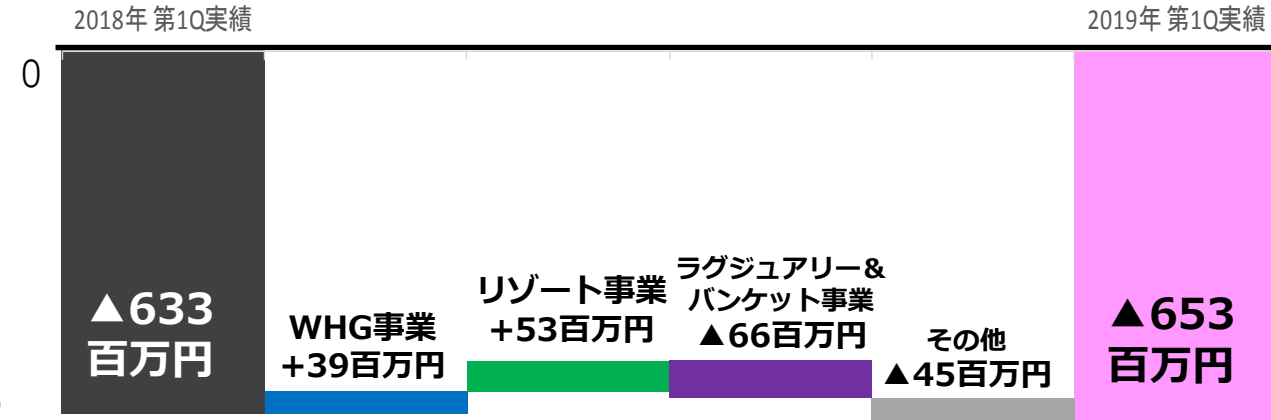
	2018年12月	2019年3月	増減
総資産	102,045	101,913	▲132
自己資本	24,509	23,864	▲645
自己資本比率	24.0%	23.4%	▲0.6%
借入金合計	45,374	46,763	1,389

I.決算ハイライト (セグメント別 売上高・営業利益)

<売上高>



<営業利益>



前年比Points :

- ・ WHG事業：首都圏のADR増加、昨年開業のホテルグレイスリーソウル・浅草および昨年改装の関西エアポートワシントンホテル通期稼働により増収。地方の一部エリアでのADR減少、本年新規開業施設の先行費用、昨年開業施設が利益貢献まで至っていないことを受け、増益幅は限定的となったが、全体では増収増益となる。
- ・ リゾート事業：昨年1月営業終了の箱根ホテル小涌園の影響で減収となるが、稼働率が向上した天悠が増収増益となり、全体では減収増益となる。
- ・ L&B事業：宿泊部門は堅調に推移したが、婚礼・宴会部門の減収によって減収減益となる。
- ・ その他：新規事業の展開により減益となる。

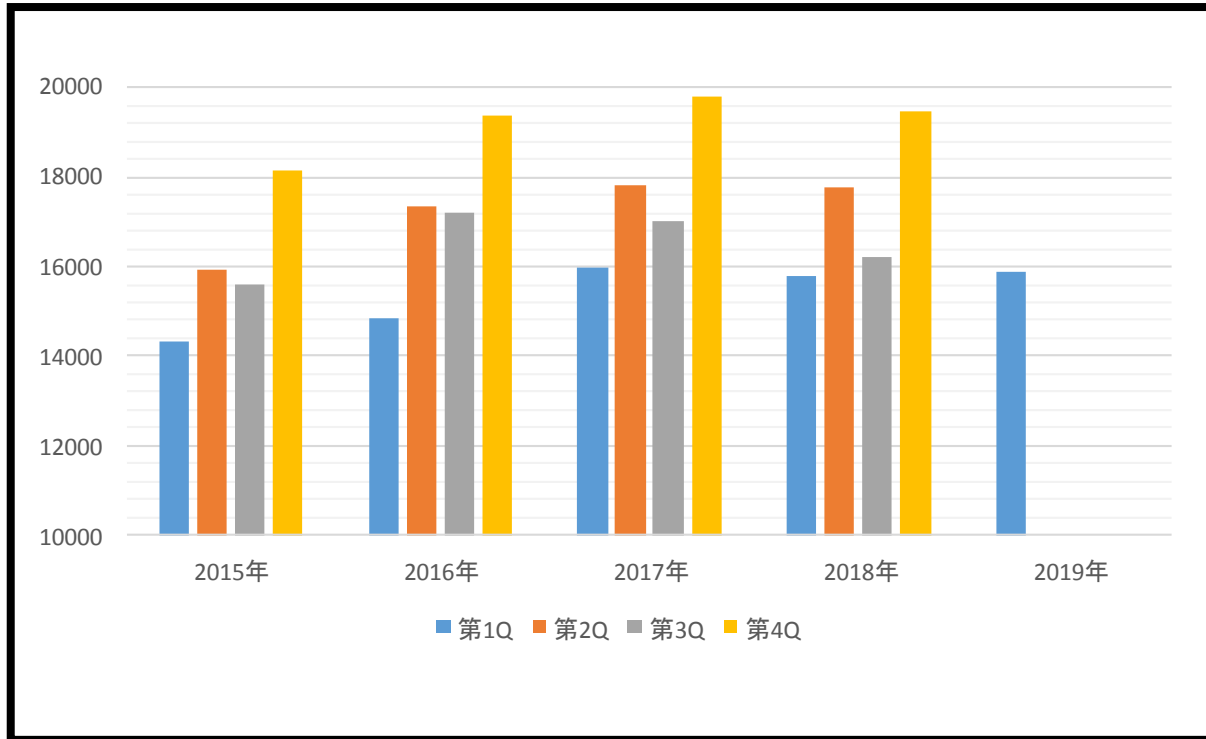
以上の結果、全体では前年比増収減益となる。

I.決算ハイライト（四半期別売上高・営業利益推移）

【参考】

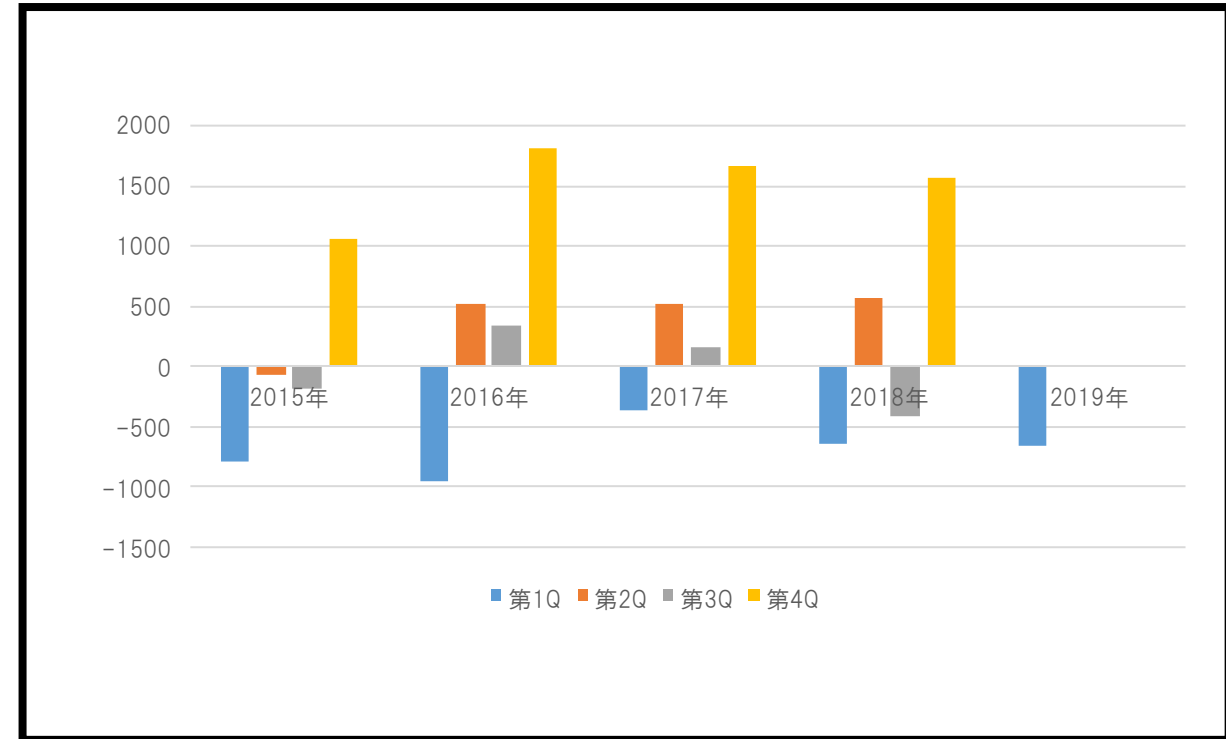
過去5年売上高推移

単位：百万円



過去5年営業利益推移

単位：百万円



Ⅱ.事業セグメント概況

Ⅱ.事業セグメント概況

WHG事業

売上高・営業利益 前年対比

単位：百万円

	2019年 第1四半期	前年比
売上高	8,941	399
営業利益	329	39

部門別売上高 前年対比

単位：百万円

部門	売上高	前年比
宿泊	7,428	375
レストラン・宴会・ その他	1,513	23

Points

ADR：平均客室単価

【第1四半期】

- ・インバウンド個人客（FIT）獲得が堅調だった新宿2館が業績を牽引し、首都圏のADRは前年比1.2%増。一方、地方では一部エリアでADRが減少し、前年比2.0%減。全体で前年比0.3%減となる。
- ・インバウンド比率は前年並みの44%。FIT誘客は東南アジアと欧米豪が好調に推移。

【第2四半期】

- ・宿泊システム改修およびグループウェアの導入により生産性向上を図る。
- ・ホテルグレイスリー大阪なんば・新ブランド（HOTEL TAVINOS、ISORAS）の下期以降の開業に向けたシステム・オペレーション準備を進める。

【宿泊】ADR・稼働率の前年および計画との対比（1月～3月）

	ADR		稼働率	
	前年比	計画比	前年比	計画比
合計	▲0.3%	▲0.9%	+0.7%	+0.3%
首都圏	+1.2%	+0.4%	+0.6%	+0.5%
地方	▲2.0%	▲3.5%	+1.0%	+0.1%

※ホテルグレイスリーソウル・浅草含む、前年実績から藤田観光ワシントンホテル旭川を除く

Ⅱ.事業セグメント概況

リゾート事業

売上高・営業利益 前年対比

単位：百万円

	2019年 第1四半期	前年比
売上高	1,315	▲126
営業利益	▲253	53

部門別売上高 前年対比

単位：百万円

部門	売上高	前年比 (箱根ホテル 小涌園・パンシオン除く)
宿泊部門	950	▲126 (19)
日帰り・レジャー	286	▲3
その他	79	4

Points

【第1四半期】

- ・箱根小涌園 天悠は、計画並みの宿泊単価を確保しながら、稼働率を向上させ、また、業務効率化による生産性向上により前年比増収増益となる。インバウンド比率は45%と前年比7%増加。
- ・箱根小涌園ユネッサンは、入場単価減により売上高は前年比微減となったが新規企画の創出によるPR強化により入場人員は計画並みを確保。

【第2四半期】

- ・箱根小涌園 天悠は、CS向上のための朝食ビュッフェ開始とともにレストランシステム導入・活用による効率化を推進する。
- ・箱根小涌園ユネッサンは、引き続き新規企画創出・PR強化・インバウンド団体獲得により入場人員のさらなる獲得を図る。

【宿泊】 宿泊単価・稼働率の前年および計画との対比（1月～3月）

	一人あたり宿泊単価		稼働率	
	前年比	計画比	前年比	計画比
箱根小涌園天悠	+3.1%	+0.1%	+4.2%	+3.6%

【日帰り】 利用人員・単価の前年および計画との対比（1月～3月）

	利用人員		入場単価	
	前年比	計画比	前年比	計画比
箱根小涌園ユネッサン	+7.9%	+0.2%	▲16.4%	▲11.2%

Ⅱ.事業セグメント概況

ラグジュアリー&バンケット事業



藤田観光株式会社

2019年12月期 第1四半期決算説明資料

売上高・営業利益 前年対比 単位：百万円

	2019年 第1四半期	前年比
売上高	5,015	▲135
営業利益	▲488	▲66

部門別売上高 前年対比 単位：百万円

部門	売上高	前年比
宿泊	520	37
婚礼	1,922	▲77
宴会	1,271	▲96
料飲	957	19
その他	343	▲17

Points

【第1四半期】

- ・宴会では、ホテル椿山荘東京において組織の見直しやスタッフ増強など体制強化を推進するも、現状では成果に結びつくには至らず。
- ・婚礼については和婚、小規模婚礼の需要取り込みを図り、一定の成果はあったものの、全体では件数・人員の減少が継続。
- ・宿泊は国内外の個人客を取り込み堅調に推移。リピーター化促進のためホテル椿山荘東京独自の会員組織の会員獲得を強化し、会員数は前年比約20%増。

【第2四半期】

- ・3月に設置したマーケティンググループの支援により、宴会営業施策の見直しを進める。

【婚礼・宴会】前年および計画との対比（1月～3月）

	婚礼				宴会			
	人員		一人あたり単価		人員		一人あたり単価	
	前年比	計画比	前年比	計画比	前年比	計画比	前年比	計画比
ホテル 椿山荘東京	▲3.6%	▲0.3%	+1.1%	+0.5%	▲7.3%	▲6.9%	▲2.0%	▲2.9%
太閤園	▲19.3%	+0.9%	+9.4%	+7.8%	▲2.8%	▲1.9%	+4.0%	+0.8%

【宿泊】前年および計画との対比（1月～3月）

	ADR		稼働率	
	前年比	計画比	前年比	計画比
ホテル椿山荘東京	+5.6%	+5.6%	+1.5%	▲0.6%

Ⅱ.事業セグメント概況（開業情報）

■ 開業情報

<2019年>

- 7/1 ホテルグレイスリー大阪なんば（170室）
- 7/26 永平寺 親禅の宿 柏樹関（はくじゅかん）（18室）
- 8/1 HOTEL TAVINOS 浜松町（188室）
- 11/1 ISORAS CIKARANG（イソラス チカラン）
※インドネシア サービス・アパートメント（214室）

<2020年>

- 5月 HOTEL TAVINOS 浅草（278室）

<2021年>

- ホテルグレイスリー台北（248室）



ホテルグレイスリー大阪なんば



HOTEL TAVINOS 浜松町



永平寺 親禅の宿 柏樹関



ISORAS CIKARANG

Ⅱ.事業セグメント概況 (連結業績予想)

単位：億円

		2019/12 上期予想	前年比	2019/12 下期予想	前年比	2019/12 通期予想	前年比
WHG事業	売上高	187.0	9.5	206.0	14.0	393.0	23.6
	営業利益	9.0	▲ 2.1	17.0	▲ 0.2	26.0	▲ 2.4
リゾート事業	売上高	26.0	▲ 0.3	33.0	2.0	59.0	1.7
	営業利益	▲6.0	1.0	▲0.5	1.4	▲6.5	2.4
ラグジュアリー& バンケット事業	売上高	116.0	▲ 3.0	122.0	1.2	238.0	▲ 1.8
	営業利益	▲2.0	▲ 1.6	2.0	1.0	0.0	▲ 0.5
その他および調整額	売上高	13.0	▲0.0	17.0	3.6	30.0	3.6
	営業利益	▲5.0	▲0.6	▲5.5	▲0.8	▲10.5	▲1.4
合計	売上高	342.0	6.0	378.0	21.0	720.0	27.1
	営業利益	▲4.0	▲ 3.3	13.0	1.3	9.0	▲1.9

※2019年2月14日発表時と変更なし

IV.会社概要・施設一覧

上場取引所	東京証券取引所市場第一部
社名	藤田観光株式会社
証券コード	9722
単元株式数	100株
事業年度	毎年1月1日～12月31日
基準日	12月31日
配当金支払株主確定日	12月31日および中間配当を実施するときは6月30日
定時株主総会	毎年3月
発行済株式の総数	12,207,424株
発行可能株式総数	44,000,000株
決算期	毎年12月31日

WHG事業グループ

<<ホテル【客室：11,823室（開業予定1,098室）>>

仙台ワシントンホテル
浦和ワシントンホテル
秋葉原ワシントンホテル
新宿ワシントンホテル 本館
東京ベイ有明ワシントンホテル
横浜桜木町ワシントンホテル
横浜伊勢佐木町ワシントンホテル
関西エアポートワシントンホテル
広島ワシントンホテル
キャナルシティ・福岡ワシントンホテル
長崎ワシントンホテル

八戸ワシントンホテル (FC)
(2019年9月30日営業終了)
山形七日町ワシントンホテル (FC)
山形駅西口ワシントンホテル (FC)
会津若松ワシントンホテル (FC)
郡山ワシントンホテル (FC)
燕三条ワシントンホテル (FC)
立川ワシントンホテル (FC)
木更津ワシントンホテル (FC)
宝塚ワシントンホテル (FC)
佐世保ワシントンホテル (FC)

ホテルグレイスリー札幌
ホテルグレイスリー銀座
ホテルグレイスリー田町
ホテルグレイスリー浅草
ホテルグレイスリー新宿
ホテルグレイスリー京都三条 (北館・南館)
ホテルグレイスリー那覇
ホテルグレイスリーソウル

ホテルグレイスリー大阪なんば (2019年7月1日開業予定)
HOTEL TAVINOS 浜松町 (2019年8月1日開業予定)
ISORAS CIKARANG (イソラス チカラン)
※インドネシアサービス・アパートメント計画 (2019年11月1日開業予定)
HOTEL TAVINOS 浅草 (2020年5月開業予定)
ホテルグレイスリー台北 (2021年開業予定)

いわきワシントンホテル (MC)
新宿ワシントンホテル 新館 (MC)
千葉ワシントンホテル (MC)

ホテルフジタ福井
ホテルフジタ奈良

新規事業

<<ホテル【客室：52室】（開業予定18室）>>

藤乃煌 富士御殿場
Nordisk Village Goto Islands
永平寺 親禅の宿 柏樹閣 (はくじゅかん)
(2019年7月26日開業予定)

会員制リゾートホテル

<<ホテル【客室：460室】>>

ウィスタリアンライフクラブ ヴェルデの森
ウィスタリアンライフクラブ 箱根
ウィスタリアンライフクラブ 熱海
ウィスタリアンライフクラブ 宇佐美
ウィスタリアンライフクラブ 鳥羽
ウィスタリアンライフクラブ 野尻湖
ウィスタリアンライフクラブ プロミネント車山高原

海外現地法人・駐在員事務所

上海 広州 台北
ジャカルタ ヤンゴン

リゾート事業グループ

<<ホテル【客室：342室】>>

箱根小涌園 天悠 (てんゆう)
箱根小涌園 美山楓林 (みやまふうりん)
伊東小涌園
伊東 緑涌 (りよくゆう)
由布院 緑涌 (りよくゆう)

ホテルやまなみ (MC)
十和田ホテル (MC)
湯河原温泉ちとせ (MC)

<< レストラン >>

箱根小涌園 蕎麦 貴賓館
箱根小涌園 鉄板焼・しゃぶしゃぶ 迎賓館
レストラン あかしあ亭

<< レジャー >>

箱根小涌園ユネッサン
箱根小涌園 森の湯
下田海中水族館

ラグジュアリー&バンケット事業グループ

<<ホテル【客室：267室】>>

ホテル椿山荘東京

<< 婚礼 >>

太閤園
桜苑
The South Harbor Resort
ルメルシェ元宇品
マリーエイド
マリコレ ウェディングリゾート
鞘ヶ谷ガーデン アグラス
オペラ・ドメヌ高麗橋

<< レストラン >>

シビックスカイレストラン椿山荘
割烹日本料理 光琳 (こうりん)
東京大学 伊藤国際学術研究センター内レストラン (MC)
明治大学 紫紺館 フォレスト椿山荘 (MC)
エフエム東京 JET STREAM (MC)
エフエム東京 CORNET (MC)

<< レジャー >>

カメラアヒルズカントリークラブ

IR担当部門 （お問合せ先）

藤田観光株式会社 企画グループ広報担当

藤石 ・ 吉永 ・ 塩澤

TEL : 03-5981-7703

Mail : h-koho@fujita-kanko.co.jp

注意事項：

当資料は藤田観光グループの業績および今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
また、注記を行っている場合を除き、2019年3月31日現在のデータに基づいて作成しております。尚、当資料に掲載された予測等は作成時点での当社の判断であり、経営環境の変動により今後変更される可能性がありますのでご了承ください。
当資料の転載はご遠慮ください。